

## 一般会計予算決算常任委員会審査日程

日 時 令和7年6月18日（水）

午前10時から

場 所 議場

～審査内容～

議案第45号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について

審査 番号	項 目	出席者
①	議案第45号に対する各分科会長報告及び質疑	委員のみ
<b>※執行部入場のため、委員会を暫時休憩</b>		
②	議案第45号に対する討論及び採決	委員及び執行部

## ■分科会長報告概要■

	令和7年6月定例会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第45号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳入】</b></p> <p>○19 款繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政調整基金繰入金 1億2,740万6,000円の増額</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">今回の補正の財源調整として繰り入れるもの</p> <p><b>【歳出】</b></p> <p>○2 款総務費</p> <p>2 項 1 目 税務総務費 793万5,000円の増額</p> <p style="padding-left: 40px;">令和7年度固定資産税及び都市計画税の賦課作業中に、地方税法に基づく非課税及び住宅用地特例を適用していない土地が12筆あることが判明したため、当該土地の所有者に対して、過納分とその利息相当分を返還するもの</p> <p style="padding-left: 40px;">（主な質疑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「発覚した詳しい経緯は」との質問に「適用対象の施設の一つが増築された際に発覚し、市内の他施設を確認したところ12筆分の未適用が見つかった」との答弁</li> </ul> <p><b>【ビジネスチャットツール導入事業】</b></p> <p>○職員間でリアルタイムな連絡やファイル共有などを可能とするツールを導入し、連絡の柔軟・即時性を向上させるもの</p> <p>○機能や他市町との連携などを鑑み、8割以上の地方公共団体で導入実績がある「L o G oチャット」を検討している。</p> <p style="padding-left: 40px;">（主な質疑）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「具体的な効果は」との質問に「1人当たり1日15分程度の業務時間の削減を見込んでいる」との答弁</li> <li>* 「災害時の連絡方法等を地域防災計画に入れ込むのか」との質問に「今後、総務課と協議する」との答弁</li> </ul> <p><b>【地域おこし協力隊募集・受入事業】</b></p> <p>○都市地域から住民票を異動して生活の拠点を移した者を「地域お</p>

こし協力隊員」として委嘱し、地域力の維持・強化に資する「地域協力活動」を行ってもらうもの。また、当該活動を通じて隊員の地域への定住・定着を図るもの。

○雇用型の隊員 1 人分、委託型の隊員 2 人分の予算を計上している。

(主な質疑)

\* 「なかなか隊員募集に至らない理由は」との質問に「各地域課題の担当部署に対して説明会を開催し、個別に協議していたが、地域おこし協力隊を活用できる事業がなかったため」との答弁

\* 「委託先の候補は」との質問に「地域経済の活性化、中小企業支援等の観点から市内の両商工会議所を想定している」との答弁

#### 【避難所等整備事業】

○国が、各市町の避難所環境の改善のための交付金制度を創設し、また、最低限必要とする災害用物資・資機材の備蓄量の基準を示したため、当該交付金を活用して、5 か年で当該基準に達するよう、年次的に資機材を購入するもの

○令和 7 年度は、簡易トイレ 92 式、簡易ベッド 358 台、テント式パーテーション 372 張、給水用コンテナ 19 基を購入する。

(主な質疑)

\* 「購入した備蓄品はどこに保管するのか」との質問に「市役所、厚狭地区複合施設及び埴生地域交流センターの防災倉庫に保管する」との答弁

\* 「その他の場所では保管しないのか」との質問に「市南部地区に空いているスペース等があるか検討している」との答弁

#### 【友好都市交流推進事業】

○本市の友好都市であるオーストラリア連邦のモートンベイ市に市長等が訪問し、友好都市間交流のさらなる充実を図るもの

(主な質疑)

\* 「期待する効果は」との質問に「山口東京理科大学とサンシャインコースト大学の持続的な連携、中学生海外派遣事業での訪問先であるレッドクリフハイスクールとの持続的な取組の推進等である」との答弁

#### 【現代ガラス展開催事業】

○ガラス文化を推進するために 3 年に一度開催している「現代ガラス展 in 山陽小野田」の第 10 回展を令和 8 年度に開催するもの

○現代ガラス展実行委員会への負担金は令和7年度は300万円であり、作品募集や展覧会の企画などの準備を行う

(主な質疑)

\*「実行委員会内にある推進委員会の活動内容は」との質問に「毎月会議を行い、出品作品が増えるような公募方法やガラス展の入場料等の運営方法を協議している」との答弁

#### 【山口県警察音楽隊演奏会開催事業】

○地域の安全や交通安全に関する行事等で活躍する山口県警察音楽隊を不二輸送機ホールに招へいし、市民が無料で気軽に音楽に触れる機会を提供することにより、芸術文化によるまちづくりを推進するもの

(主な質疑)

\*「どのようにチケットを配布するのか」との質問に「不二輸送機ホール等で、無料で1人当たり4枚まで配布する予定」との答弁

#### 【市民体育館整備事業】

○市民体育館の利用環境向上のため、アリーナ内特定天井の解消、アリーナへの空調設備の新設、館内トイレの洋式化、シャワー室の改修、受変電設備の更新及び換気設備の更新を行うもの

○特定天井解消には、様々な手法を比較した結果、落下防止ネットの設置を採用する。

○工期は令和8年1月から令和9年3月までの15か月を見込んでおり、総工事費8億2,620万円のうち、工事請負費として3億3,040万円を計上し、令和8年度までの債務負担行為として4億9,580万円を設定している。

(主な質疑)

\*「落下防止ネットの強度は」との質問に「1平方メートル当たり200キログラム程度まで大丈夫だと聞いている」との答弁

\*「トイレの改修内容は」との質問に「タイルの貼り替え、小便器の更新及び大便器の洋式化である」との答弁

\*「当初計画していた工事費からどの程度増加したのか」との質問に「物価や人件費が上昇し、また、全熱交換器、換気設備等の工事等が増えたため、2割程度増加した。」との答弁

\*「輻射式冷暖房システムの優位性は」との質問に「ランニングコストが安価なこと、大空間でも熱を伝えやすいこと等である」との答弁

\*「避難所となった場合の対応は」との質問に「災害の状況によ

るが、3 日後から1週間後までに開設することとしており、市民体育館の収容人数は828人を想定している」との答弁

\*「災害時に電気を使用できなくなった場合の空調は」との質問に「このたびは非常用電源を整備しないので、現在備蓄しているカセットコンロのボンベを使用したスポットクーラーや発電機で稼働する大型の空調のリース等での対応を考えている」との答弁

\*「熱源の選定についての考え方は」との質問に「電気、都市ガス、プロパンガスそれぞれに一長一短あり、一概に災害時にどれが有益であるとは言いにくいですが、今回はランニングコストやガス管の敷設状況を考えて都市ガスに決定した」との答弁

\*「施設の雨漏りの状況は」との質問に「アリーナ内に雨漏りは無いが、通路の一部で雨漏りがあり、順次修繕していく」との答弁

#### 【屋内運動場照明器具LED化改修事業】

○小中学校の屋内運動場の照明器具として使用されている水銀灯が2020年から製造禁止となったことに伴い、計画的に照明器具をLEDに更新するもの

(主な質疑)

\*「屋内運動場のほかに改修が必要な箇所はあるのか」との質問に「一部の多目的ホールを改修する予定である」との答弁

#### 【学校和式トイレ洋式化事業】

○和式トイレの使用に不慣れな小中学生や和式トイレの使用に困難を伴う避難住民等の負担軽減を図るため、トイレを順次洋式化するもの

(主な質疑)

\*「令和7年度はどこをどの程度洋式化するのか」との質問に「小学校は有帆、高千帆、高泊、小野田、須恵、赤崎、本山、厚狭、出合を、中学校は高千帆、小野田、竜王を各2基ずつ行う予定である」との答弁

\*「各学校の生徒数を考慮して洋式化しないのか」との質問に「どの学校も洋式化率がとても低いので、一律で2基ずつ整備する」との答弁

#### 【リーディングDXスクール事業】

○国が進める事業であり、GIGA端末の標準仕様に含まれている汎用的なソフトウェアとクラウド環境を活用して児童生徒の情報

活用能力の育成を図りつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を一体的に進め、校務DXを推進して全国に好事例を創出することを目的とするもの

○小野田中学校、小野田小学校及び須恵小学校がこの事業の指定校となった。先進事例視察や有識者による研修講演会等を通じて効率的な教育実践を創出し、市内各学校に横展開していく。

(主な質疑)

\*「この事業でどのような学びを目指すのか」との質問に「各児童生徒の理解度や特性に応じた学びである「個別最適な学び」とICTを活用して他者と意見を交わしながら深める学びである「協働的な学び」を一体的に推進し、多様な学びの実現を目指す」との答弁

#### 【学校給食実施事業（物価高騰分） 埴生幼稚園分】

#### 【学校給食実施事業（物価高騰分） 小学校・中学校分】

○食材の物価高騰が給食の提供に支障を来す可能性が高いため、食材の物価高騰相当額を臨時的に公費で負担することで、保護者の負担増を抑え、園児・児童生徒にかかる給食費は据え置いて、これまでどおりの栄養バランスや質を保った給食が提供できるように支援するもの

○1食当たりの物価高騰相当額は、幼稚園分は54円、小学校分は63円、中学校分は73円とした。

(主な質疑)

\*「埴生幼稚園分の財源は何か」との質問に「一般財源からの拠出である」との答弁

\*「給食費の改定について議論しているか」との質問に「教育委員会の了解を得ながら具体的な改定を検討している」との答弁

《自由討議》

○地域おこし協力隊の募集・受入事業

- ・ 令和5年度に受入地域を市内全域に拡大した点は評価するが、いまだに実績が少ない。より積極的に募集をかけ、受入態勢を整えるべきである。
- ・ 委託型を進めるに当たり、両商工会議所との連携を強化する必要がある。
- ・ 国の特別交付税措置の対象は3年間だが、それ以上の期間の活動を補助する市独自の制度を研究すべきである。

○避難所等整備事業

本市では、国の備蓄基準に未達であること及び市南部地区に防

災倉庫がないことが課題であるため、早期の物資購入と市南部地区への防災倉庫設置を求める附帯決議をすべきである。

○学校和式トイレ洋式化事業

各学校施設の児童生徒数を考慮し、できるだけ格差を生じない形で改修を進めることを求める附帯決議をすべきである。

○市民体育館整備事業

(1) 財源について

- ・ 緊急防災減災事業債は、充当率 100%、地方交付税措置率 70%の有利な財源であり、確実に活用すべきである。
- ・ 緊急防災減災事業債を活用するためには令和 8 年度の工事完了が条件であり、事業の見直しを行った場合、当該事業債が活用できなくなる懸念がある。
- ・ 緊急防災減災事業債を活用する以上、避難所機能をさらに充実させるべき。

(2) 空調設備の熱源の選定について

- ・ 都市ガスは近年改良され、復旧が迅速になったため優位性がある。
- ・ 地震対応の観点から、都市ガスの中厚管は震度 5 まで耐えられるので、都市ガスを採用すべき。
- ・ 分散型エネルギーの観点から、市民体育館ではプロパンガスの活用を検討すべきである。

(3) 市民体育館の役割と防災機能について

- ・ 市民体育館はスポーツ施設であり、避難所機能は副次的なものであるため、通常の利用環境向上を第一に考えるべき。
- ・ 避難所機能を軽視しすぎている。
- ・ 体育館は老朽化が進んでおり、断熱工事や雨漏り対策も必要である。
- ・ 避難所として熱中症対策、トイレ整備、その他の防災設備は不可欠である。
- ・ 停電対応型ガスヒートポンプの導入が必要ではないか。
- ・ 防災やスポーツの視点からの成果指標が設定されておらず、ハザードマップとの適合性も考慮するべきである。

(4) 事業の進め方について

- ・ 熱中症対策のため、早急に整備するべきである。
- ・ 基本計画がないため、事業の方向性が不透明である。
- ・ 空調方式の選定根拠が不明瞭であり、コスト削減の可能性を再検討する必要がある。
- ・ 予算の修正を行うべきである。
- ・ 空調設備の再検討には賛同できるが、特定天井の解消やト

イレの洋式化等は早急に行う必要がある。

## ■分科会長報告概要■

	令和7年6月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第45号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【空家等活用促進区域活性化事業】</b></p> <p>○空家等の活用が必要と認められる区域を定め、空家等の活用を通じて、地域における経済的社会的活動を促進するもの</p> <p>○区域内の空家の解体を促し跡地を活用するため、補助金を新設し補助率は5分の4で上限を200万円とするもの</p> <p>（主な質疑）</p> <p>＊「対象区域の空き家は何件あり、所有者は特定できているのか」との質問に「空き家は48件で、そのうち2件ぐらいの所有者が死亡等で特定できていない」との答弁</p> <p>＊「誘導用途に制限はあるのか」との質問に「風俗営業等の規制及び業務の適正化に関する法律に定める業種等は除く」、また、「市長が不相当と認める業種を除く」という規定がある」との答弁</p> <p><b>【乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）】</b></p> <p>○対象施設向けに、この制度についての説明会を実施したところ、令和7年度の試行的事業の実施に前向きな施設が4園あったことから、このたび実施に係る予算を計上するもの</p> <p>○年間利用延べ人数の見込みは540人である。</p> <p>（主な質疑）</p> <p>＊「試行実施はいつからか」との質問に「実施を検討している園等と協議をし、認可の申請を受け付けて認可をしてからのスタートになるので、最短で10月ぐらいからを予定している」との答弁</p> <p><b>【副食費増加相当額軽減事業】</b></p> <p>○物価高騰下にあっても、私立保育所等において、これまでどおりの栄養バランスや量を保った食事の提供が行われるよう、食材料費の支出に係る増加相当分を支援するもの</p> <p>○対象園児の延べ人数は、4,700人である。</p>

(主な質疑)

\* 「私立保育所等は1人、一月当たりの補助基準額が900円であるが、この金額で物価高騰分をカバーできるのか」との質問に「副食費の増加は、1人当たり大体350円から900円前後になっているので足りると考えている」との答弁

**【公立保育所運営事業（臨時）】**

○物価高騰下にあっても、公立保育所において、これまでどおりの栄養バランスや量を保った食事の提供が行われるよう、<sup>まかない</sup>賄材料費の支出に係る増加相当分を支援するもの

○対象園児の延べ人数は、4,870人である。

(主な質疑)

\* 「1食当たり、幾ら上がっているのか」との質問に「1食当たり34円上がっている」との答弁

**【避難所備蓄品整備事業】**

○国の基準に達するように計画的に避難所備蓄品を購入し、備蓄品の充実、避難所における良好な生活環境を確保するもの

○想定避難者数は1,882人である。

○食料品は、年齢層ごとにミルク、おかゆ、米、クラッカーの必要数3日間9食分を算出し、5年間で購入する計画である。

○生活用品として、毛布、紙おむつ（成人用）、紙おむつ（乳幼児用）、生理用品の必要数を購入する予定である。

(主な質疑)

\* 「国の実態調査の結果を受けての、市としての取組は」との質問に、「特に食料品等については他市町と比べて少ない状況だった。このたび国から基準が示されたので、その基準に達するように計画的に配備を進めていく」との答弁

**【定期予防接種事業（新型コロナウイルスワクチン）】**

○令和6年度から予防接種法上のB類疾病として位置づけられた新型コロナウイルス感染症について、同法に基づく定期の予防接種として実施するもの

(主な質疑)

\* 「自己負担額は幾らか」との質問に「4,680円である」との答弁

**【GX推進事業】**

○本市におけるGXを推進することにより、産・官・学・民が協力

して地域のカーボンニュートラルの実現を目指すため、GX推進協議会を開催し、今年度中のアクションプラン策定を進めるもの  
(主な質疑)

\* 「他市でアクションプランを策定しているので、本市も策定することになったのか」との質問に「国の動向や、県もプランを策定しているといった動きがある中で、本市の企業も意識が高められてきていることがきっかけになっている」との答弁

## ■分科会長報告概要■

令和7年6月定例会

一般会計産業建設分科会

議 案 件 名	議案第45号 令和7年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）について
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【スマイルエイジングパーク事業】</b></p> <p>○糸根公園は、防衛省所管の民生安定施設助成事業を活用して整備することが検討されており、この補助事業を活用するためには費用対効果が1以上であることが要件となるため、費用対効果の分析業務を行う。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「費用対効果が1以上であることについての説明を」との質問に「分母が事業にかかる費用、分子は公園整備により期待される効果であり、1以上ということは、費用に対して効果が費用以上にあるということである」との答弁</p> <p><b>【管理施設改修事業】</b></p> <p>○維持管理コストの軽減を図るため、江汐公園の外灯42基を水銀灯からLEDに改修する工事を行う。</p> <p>○浜河内緑地及び東沖緑地に設置されているテニスコート審判台を2台更新する。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「LED化により電気代はどの程度安くなるのか」との質問に「須恵健康公園の外灯をLEDに改修した結果、電気代が約3割安くなった」との答弁</p>